資　料　編

１　公園の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８

２　公園の整備状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９

３　公園の利用実態　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２

（１）　公園利用実態調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
（２）　小学生を対象としたアンケート調査・・・・・・・・・・・３８
（３）　市民を対象としたアンケート調査・・・・・・・・・・・・４４

４　素案に対する市民意見の結果　・・・・・・・・・・・・・・・４７

５　参考文献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３

1　公園の役割

公園は、私たちが生活を送る上で様々な役割を果たしています。ここでは、その代表的なものとして次の３点を紹介します。

■心の安らぎの場、健康･レクリエーション･コミュニティ活動の場の提供

公園ができることにより、学齢前から高齢者まで多くの利用者が、日常的な遊びやレクリエーション、散策の場として公園を利用することができます。また、公園は、地域の交流の場としても利用することができます。

このように公園を利用することによって、心身の健康の維持増進、子どもの健全な育成、地域コミュニティ活動の場の提供などがもたらされます。

■都市景観の向上、都市環境の維持・改善

公園は、整備面積の多くが緑地帯として整備されています。公園を直接利用しない場合でも、公園が整備されていれば、地域に緑や花が多くなること、その緑に集まる鳥や昆虫が生息することなどにより、まちに潤いが生まれるとともに、景観も向上し地域全体のイメージがアップします。

また、緑地は、ヒートアイランド現象や騒音を緩和したり、大気汚染を抑制するなど、都市環境の改善にも貢献します。

このように、公園は、都市景観の向上、都市環境の維持・改善をもたらします。

■都市の安全性・防災性の向上

阪神・淡路大震災において公園が被災住民の避難地となったり、火災の延焼を防止したり、救援物資の輸送や救助部隊の活動拠点となったり、仮設住宅用地となったりと重要な役割を果たしたことは記憶に鮮明に残っています。また、古くは関東大震災において、公園は都市住民の多くの生命を守りました。

このように公園は､大きな地震が起こった際､まとまった空間を提供できるため、震災など災害時に有効に機能します。

焼け止まりとなった大国公園（神戸市長田区）

写真:国土交通省

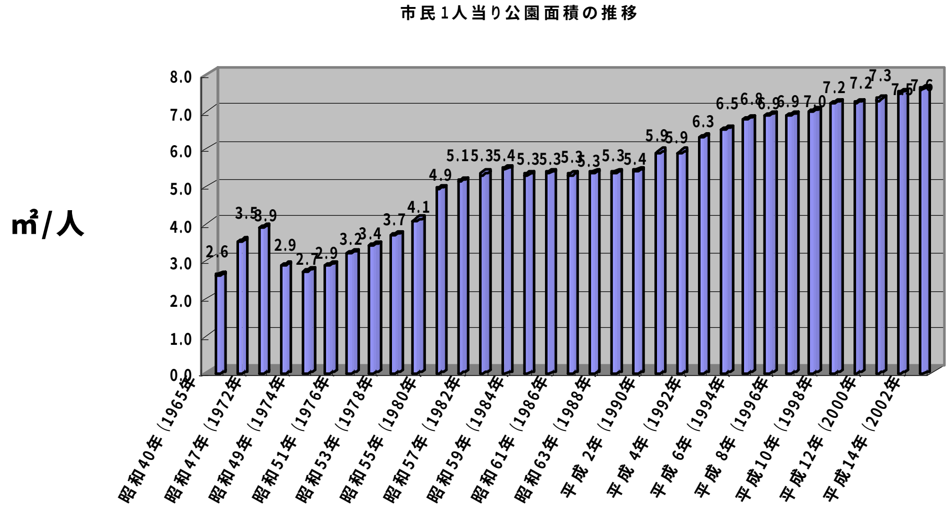
ボランティアによる炊き出し

仮設トイレ

2　公園の整備状況

■公園整備量の推移

広島市の戦後の公園整備は、昭和２７年の広島平和記念都市建設計画により本格的にスタートしました。この時期に平和記念公園、中央公園、河岸緑地などの計画決定がなされ、ほぼ今日の公園緑地の骨格が形成されました。



昭和３０年代から昭和４０年代前半にかけての公園整備は、公園用地の面的な拡大よりも施設の充実に力が注がれました。現在高木に生育している樹木のほとんどがこの時期に植栽されたものです。

昭和４０年代の後半に入ると、周辺町村との合併や市域への人口の流入が進み、昭和４５年度末に市民１人当り３．５㎡の水準に達していた公園面積は、昭和４９年度末には２．７㎡となりました。しかし、昭和４７年から始まった国の都市公園等整備五箇年計画に対応して、公園の体系的な整備に努めた結果、市民１人あたりの公園面積は､第一次から第六次(第六次は７箇年)までの約３２年間に約２倍(３．９㎡から７．６㎡）まで引き上げられました。

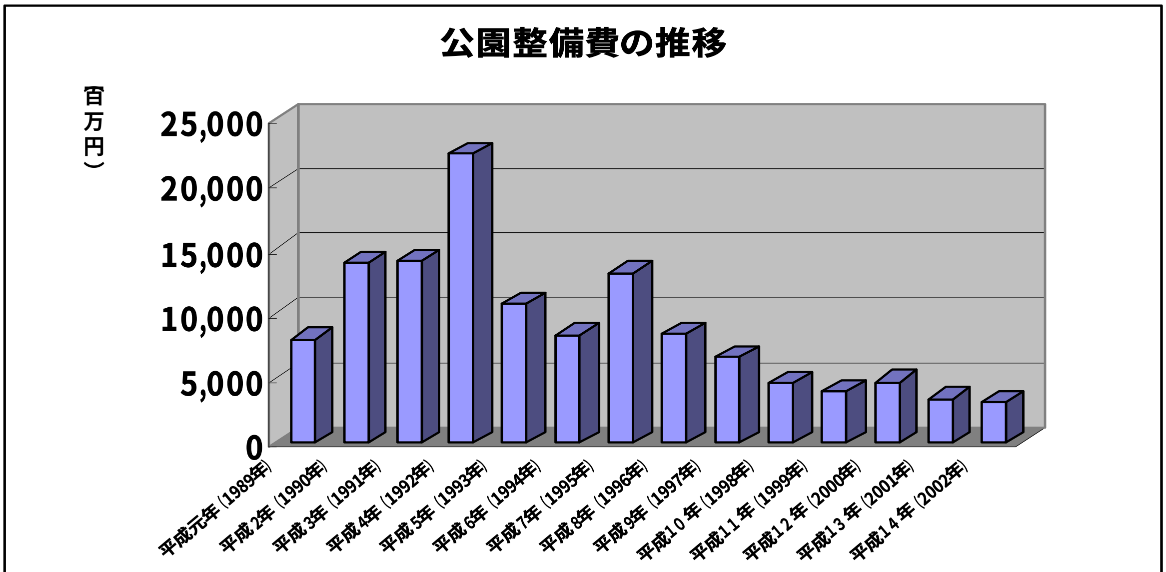
しかし、依然として、公園が身近にない地域があるなど、今後も引き続き整備を推進する必要があり、広島市緑の基本計画では、市民１人当りの公園整備目標を平成１１年（１９９９年）の７．２㎡を平成２２年（２０１０年）に約１０㎡を確保できるよう設定し、公園の整備を推進することとしています。

なお、平成１５年（２００３年）３月３１日現在、開設している公園は１，０５４箇所、８６０ｈａで、市民１人あたりの公園面積は７．６㎡となっています。

■公園整備費の推移

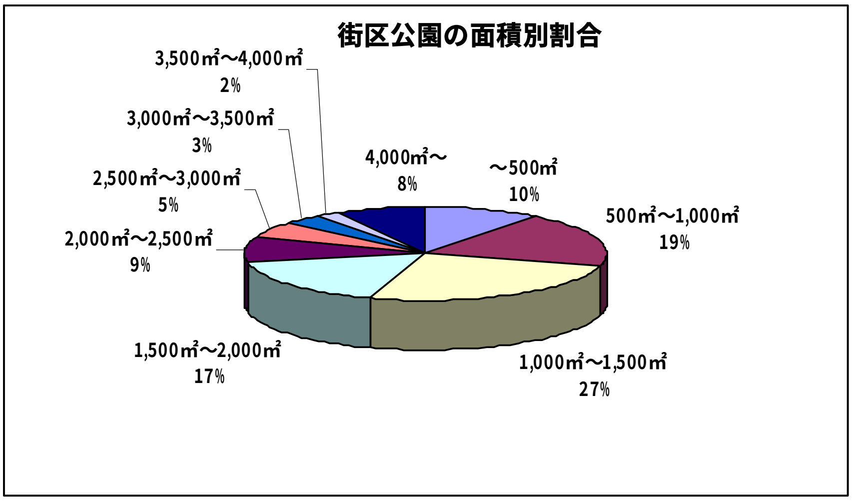
長引く景気の低迷などにより、広島市の財政は大変厳しい局面にあります。公園整備費についても、下表が示すように、アジア大会開催に向けた広域公園の整備などを行った平成４年（１９９２年）をピークに、大幅な減少に転じています。

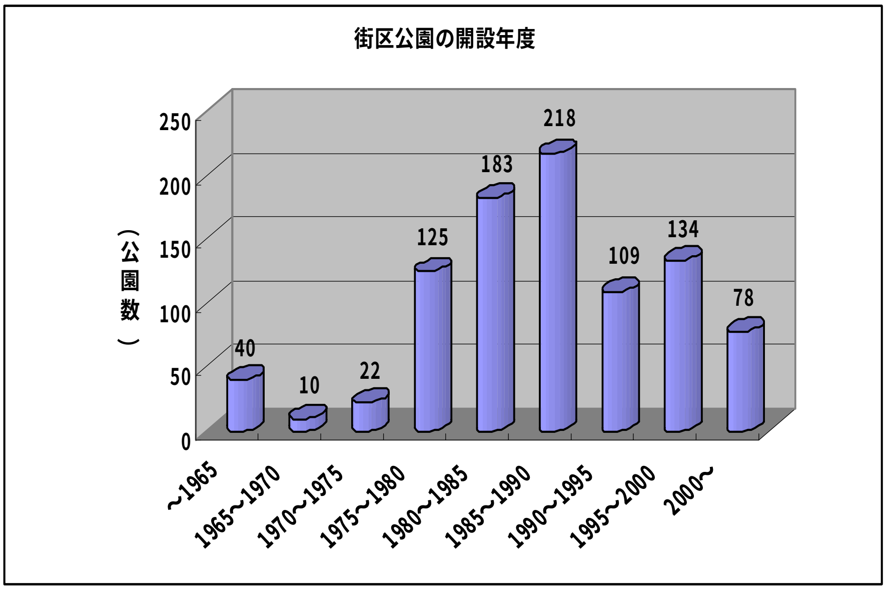
なお、平成１４年（２００２年）の公園整備費は、平成４年（１９９２年）の公園整備費の約１４％と激減しています。



■街区公園の面積別割合

広島市の街区公園の面積別公園割合を見ると、街区公園の標準面積である２，５００㎡を越える公園は全体の約２割となっており、標準面積に満たない公園は、全体の約８割と大部分を占めています。



■街区公園の開設年度

開設年度を見ると、１９８５年から１９９０年の間と、１９８０年から１９８５年の間に開設しているものが多くなっています。開設後約２０年を経過した公園（１９８５年以前に開設した公園）が全体の約４割を占めています。